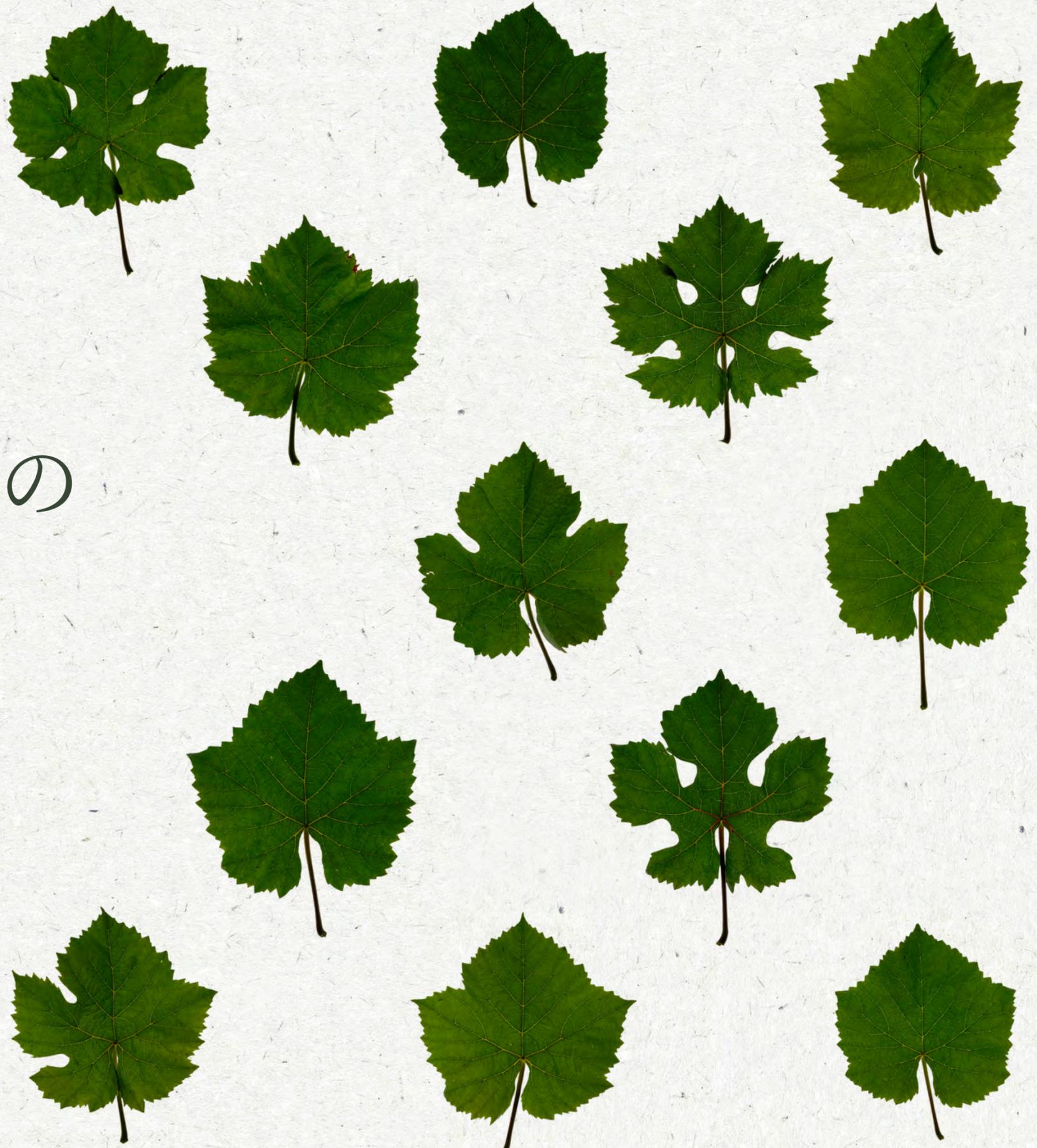


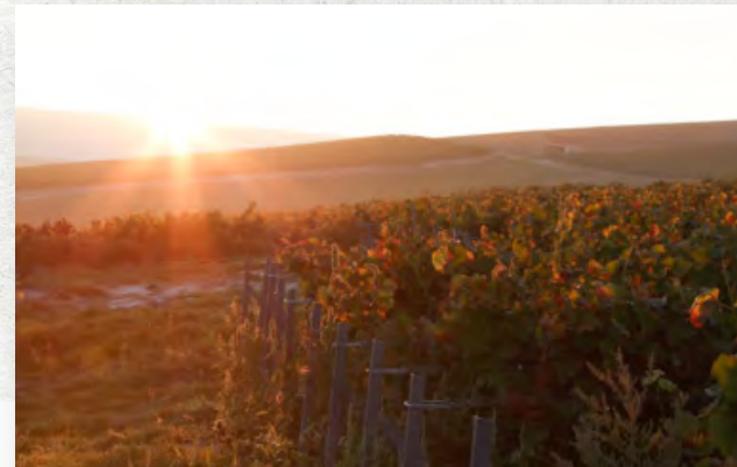
# ルイ・ロデレール自社畑の 生物多様性を表現

グトナーのソーラーパネル・シリーズ



「21世紀は、自然を巡る戦いの時代です。ブドウ畑への配慮がこれまで以上に重要となりました。ブドウ樹の回復力を高め、多様性を最大限に再現し、異なる種で生態系を豊かにし、私たちに特有の道を切り開くことが重要なのです。この豊かな生態系を追求し、その美しさを知ってもらいたいという思いから、再生の軌跡を写真に収めたジャン・シャルル・グトナーの作品に辿り着きました。」

ジャン・バティスト・レカイヨン





生物多様性から、風味と味わい、表現、プロフィール、感性の豊かさが生まれます。ルイ・ロデレールは、20年以上にわたって、植物遺産の多様性を維持し、遺伝的変化の保存に努め、メゾンのシャンパーニュのアイデンティティを映し出すユニークな個性を保っています。

ルイ・ロデレールはテロワールを最も正確に表現することを常に追求し、2000年代初頭から持続可能で責任あるブドウ栽培の実践に取り組んでいます。

自然が気候の変化に対応し続ける中、ルイ・ロデレールのスタッフは、フランスで唯一、植物遺産の保護計画に取り掛かりました。メゾンは、ブドウ樹を観察し、最も回復力のあるブドウ樹を選ぶことで、何百年もの間、適応プロセスを続けてきました。

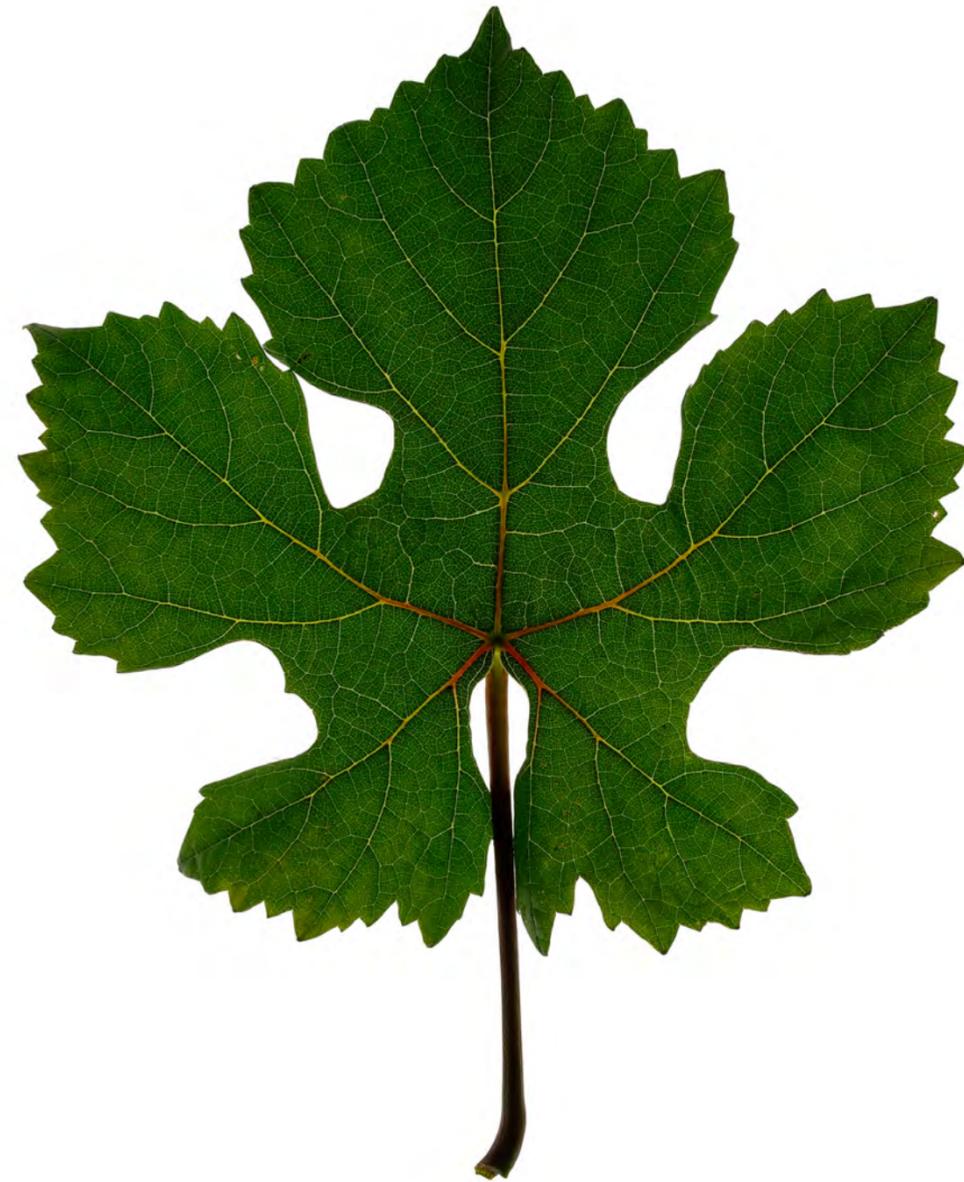


ジャン・シャルル・グトナーの写真、『ソーラーパネル』シリーズは、まさにこうした生態系の歴史を捉えており、同様の植物の変化を記録する一般的なアンペログラフィーの目録作成として2015年に始まった彼のスケッチブックを、当時のままでなく、最も広範囲な遺伝子的多様性において発展させています。

写真は、白を基調とし、トリミングやデジタルレタッチを行っていません。韓国の特殊な紙（韓紙）に印刷し、現在グランパレ・エフェメールに展示されています。展示会后、空と大地の結びつきを表現する手仕事によるユニークな作品となるでしょう。

生態系の美しさと  
植物遺産に光を  
当てる





Pinot noir - Aÿ

*15 La Côte du Moulin 81  
Sélectionné en 2002*

ジャン・シャルル・グトナーの作品は、ルイ・ロデレールのブドウ畑で見られる植物遺産の多様性を視覚的に表現しています。葉の様々な形や色を、植物図鑑や標本のように映し出しています。写真家とメゾン・ロデレールのコラボレーションは、自然を作品の中心に据えるという共通のヴィジョンから生まれました。ジャン・シャルル・グトナーは、2015年にブドウ畑の探索を開始し、将来のブドウを保護する春の葉という、最も印象的なものを撮影することを目指しました。

『ソーラーパネル』は、この個人的なコレクションから生まれた、生態系の多様性とその隠れた美しさを追求した写真作品です。ルイ・ロデレールの自社畑では、20年以上前から生物多様性の保全に取り組んでおり、先祖代々受け継がれている自然遺産を確実に守っています。



ルイ・ロデレールは、生命を尊重しながら、自然に優しく寄り添い、持続可能なブドウ栽培を実践しています。マサルセレクションによるブドウの遺伝的多様性を維持し、エステートでの台木(ブドウの接ぎ木を受ける台木)を栽培し(それ自体が植木職人の仕事)、樹液の流れを尊重した選定を行い、垣根・石垣の維持を行い、蜂の巣や果樹(古い品種の桃、洋ナシ、リンゴ)の導入し、耕作と休耕を交互に行い、ブドウ畑の区画を、モザイク状に整えています。

ルイ・ロデレールのブドウ樹を撮影したジャン・シャルル・グトナーの作品には、こうした生態系の生き物たちが映し出されており、春の葉が茂り、色とりどりの葉に隠れた美しさを見せてくれます。

Aÿ



Pinot noir - Aÿ  
36 Gorgeotte 192  
Sélectionné en 2002



Pinot noir - Aÿ  
25 Gorgeotte 192  
Sélectionné en 2002



Pinot noir - Aÿ  
4 La Côte du Moulin 112  
Sélectionné en 2002



Pinot noir - Aÿ  
15 La Côte du Moulin 81  
Sélectionné en 2002



Pinot noir - Aÿ  
69 La Goutte d'Or 43  
Sélectionné en 2002



Pinot noir - Aÿ  
15 La Goutte d'Or 274  
Sélectionné en 2002



## アンペログラフィ目録



この作品は、ジャン・シャルル・グトナーが最初にブドウ畑(人間が介入するこの直線的な空間)を探索し始めた数年前に始まり、その後、果物や葉のスケッチや図面、決定的な瞬間に撮影されたスナップ写真など、前例のない美的探求へと続きました。

メゾン・ルイ・ロデレールの仕事と、自然への配慮を称賛していたジャン・シャルル・グトナーは、ジャン・バティスト・レカイヨンと出会いました。写真家がルイ・ロデレール・エステートの中心部を探索し、ブドウ樹の遺伝的多様性を明らかにするというこの親密なプロジェクトは、彼らの対話から生まれました。



## 傑出した韓国の紙「韓紙」

これらの写真を引き立てるには、当然それ相応の媒体が必要でした。韓国は、7世紀から続く優れた伝統的紙作りで知られています。現在もその技術を受け継ぐ一族が、楮(こうぞ)を栽培し、その樹皮を採取して紙を漉いています。敷地内に生える自然のヒイラギと湧き水を原料に、年に一度だけ手仕事によりこの紙が作られます。グラン・ヴァン造りのように、自然のサイクルや季節のリズムに合わせた芸術なのです。

「ブルーハウス」と呼ばれる韓国大統領官邸・大統領府で国宝に指定されている「韓紙」は、3年前にルーブル美術館に採用され、貴重な美術品(レオナルド・ダ・ヴィンチやラファエロ、デューラーのデッサン)の維持と復元に使用されています。

ジャン・シャルル・グトナーは、この紙の製造に関連する伝統と先祖伝来のノウハウを保護するために、韓国の「Mirae Hanji」協会の活動を支援しています。

この紙は繊維が軽く写真の印刷には不向きなため、紙の繊細さを生かしながら写真を印刷できるよう、紙漉き職人と写真印刷の専門家の協力の下、特殊な再生工程を開発しました。

繊維を傷つけないように、すべてのプリントを水で、手作業で切り直しました。このクリーム色の100%天然の韓紙が、生き物の生態系の要素を記録した原版です。



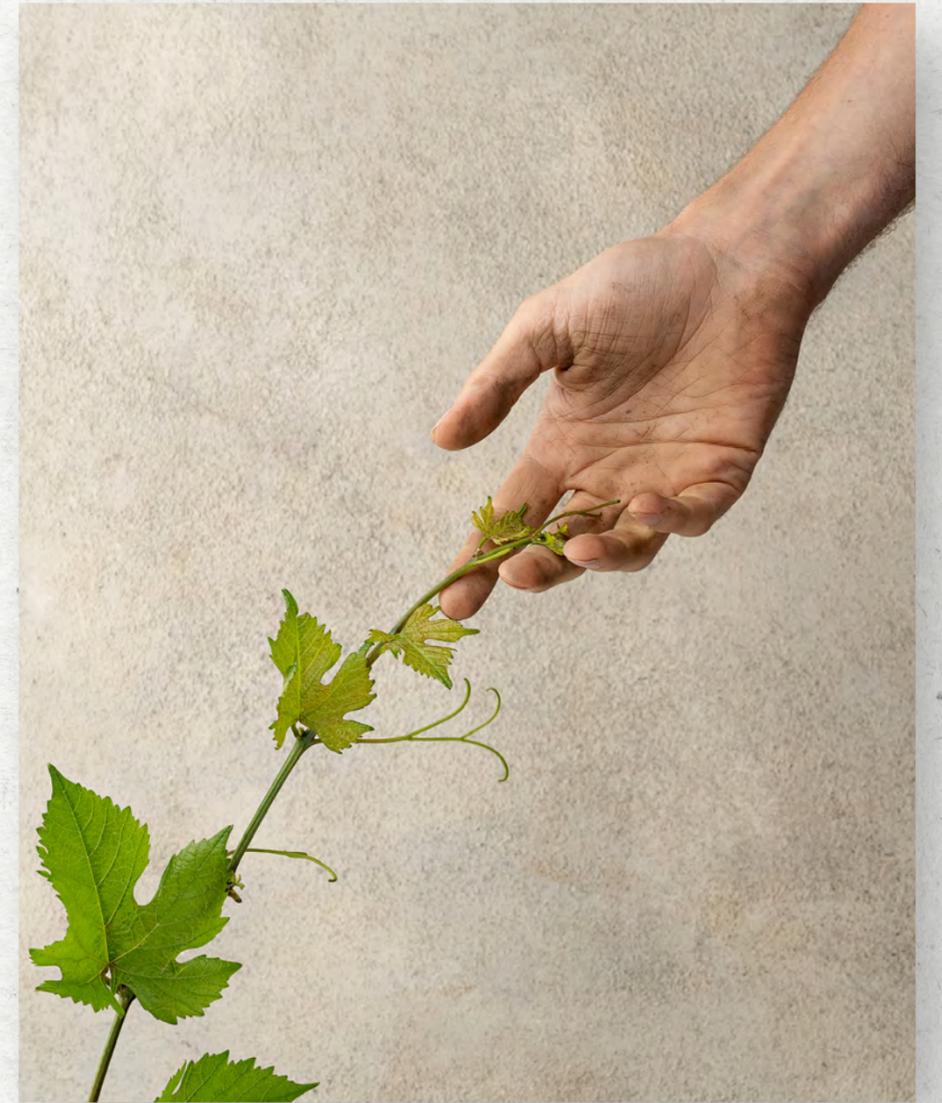
## 時間をかけた自然の作品

このプロジェクトは、考察と観察を重ねて、長い月日かけて慎重かつそれぞれに適する取り組みの伝承でもあります。『ソーラーパネル』は、自然への言及であると同時に、韓紙を媒体とする素晴らしい行為です。また、春に蔓を撮影して冬に紙を漉くという、年に一度しか行われない作品でもあります。

シャンパーニュ地方の生き物たちの記憶であるこの作品は、私たちの日々の内省を育み、私たちが自ら描いた道を進むようにしてくれるのです。



創世記：  
繁栄する生態系の  
探求byルイ・ロデレール





メゾン・ルイ・ロデレールでは、自然に配慮したワイン造りを常に重視してきました。1990年代の末、シャンパーニュ・メゾンは、ルゾー家とジャン・バティスト・レカイヨンが中心となって、ブドウ栽培の将来的な方向性についての検討を開始しました。化学物質の使用を止めて土壌が再生し、使う植物原料やその品質、寿命に疑問を持つようになりました。遺伝子の多様性が低ければ低いほど、ワインの表現が悪くなります。逆に、1つの植物から別の植物への遺伝子変異が多ければ多いほど、出来上がったワインはテロワールのニュアンスをより力強く、より繊細に反映するようになります。

この多様で傑出した遺伝的遺産の保護である至宝は、ルイ・ロデレールの20年以上にわたる戦いです。なぜなら、栽培化したブドウは、非常に限られた選択により、本来の遺伝的多様性を失い、貧弱になってしまうからです。



ルイ・ロデレールは、こうしたブドウの貧弱化に対抗するため、長年の観察に裏打ちされた幅広い研究と応用プロジェクトに着手し、ランスから20km離れたマルヌ県のブルーズという場所に実験用のブドウ畑を作りました。

「植物を再生し、マサルセレクションによって私たちのスタイルのユニークな個性を取り戻さなければなりませんでした。」  
とジャン・バティスト・レカイヨンは言います。

ルイ・ロデレールは1990年代末から、自社畑を戦略とアクションプランの根幹に据え、シンプルな方法で進めてきました。1960年代以前に植えられた、クリスタルの畑に植栽した挿し木した古いブドウ樹は、理想的な樹でした。最も興味深く健康なブドウ樹、最もよく熟し最も優れたブドウを生産する樹が選ばれました。





# ブドウ樹の保存、 独自の遺伝子的多様性

## 植物遺産の保存と植え付け

### 2000年-第1期

クリスタルの畑のブドウ樹のうち、耐性と品質の点で最も有望と思われるブドウ樹の挿し木を4つの増殖場(アイのコミューンに2つ、ヴェルズネイに1つ、最後の1つをコート・デ・ブラン)に植えつけました。ブドウ樹は、主にアイと近郊のテロワールのピノ・ノワールと、コート・デ・ブラン(特にアヴィーズ)のシャルドネ数本でした。この研究は2000年代初頭に行われ、ブドウの木に驚くべき多様性があることを示しましたが、それは葉の形態的な多様性からも明らかで、どれも全く異なる形をしていました。

## コレクションのための セレクション

### 2010年-第2期

2010年以降、4年間にわたる観察により、最も健全な若木の選定が行われました。ブルーズ・コレクションは、これらのブドウ樹を収容するために作られたもので、ヴェレ・ド・ラルドルの栽培地から離れた保護区域に1列ずつ植えられています。



## コレクションの構造化

### 2015年-第3期

コレクションは、2015年について構造化され、春の霜や悪天候から守られ隔離されました。今日では、112本の健康なブドウ樹(ピノ・ノワール105本、ムニエ5本、シャルドネ8本)を数えます。他のブドウ品種(アルバンヌ、プチ・メスリエ、ピノ・ブラン、ピノ・グリ)のための保存も同時に始まりました。これにより、キュミエールのテロワールにおける将来のブリュット・ナチュール・キュヴェのために、AOCの7つの伝統的なブドウ品種の共植栽が可能となります。

遺伝的多様性をできるだけ維持するため、現在ブドウの接ぎ木のベースとなる台木にも同様の作業が行われています。この台木は、ブルーズの敷地内の2ヘクタールの土地で栽培されています。ここでは、ブドウ樹が平行に伸び、「テーブル」や長いワイヤーを使って栽培されています。これはフィロキセラに強い台木で、シャンパーニュのテロワールに順応しながら成長します。2月に収穫された木は、切り分けられて秋にはイギリス式の接ぎ木が行われます。長く手間のかかる作業ですが、非常に質の高い植物をもたらします。

将来、エコシステム全体が  
「ヴィティス・ヴィニフェラ  
(ワインを造るブドウ)」



「生物多様性への取り組みは30年近く前に始まり、この先60年後も私たちのブドウ樹が依然としてそこにあるよう進化し続け、将来のブドウ栽培の指針であり続けています。30年後には、ルイ・ロデレールのブドウ畑の全てに、私たちの苗床から私たち自身が選んだブドウ樹が植栽されていることとなります。」シャンパーニュ地方でこうした例は他にありません。

「私たちは、自分たちのルーツを辿り、ヴィティス・ヴィニフェラの永続性を信じて、ワインにニュアンスと複雑味を与えるこのすばらしい多様性を発展させるために、ブドウ樹に手を貸すことで、私たちの物語を書き続けなければなりません。」とジャン・バティスト・レカイヨンが説明します。

ブドウ品種の中には、1000年もの間、気候の変化や栽培方法の違いに耐えてきたものがあります。私たちは、こうした自然の回復力を促進し、維持していかなければなりません。「ブドウ樹ができるだけ抵抗力を持ち、遺伝的多様性を助長し、様々な個性や感性で生態系を豊かにするために、私たちはできる限りのことをする必要があります。」



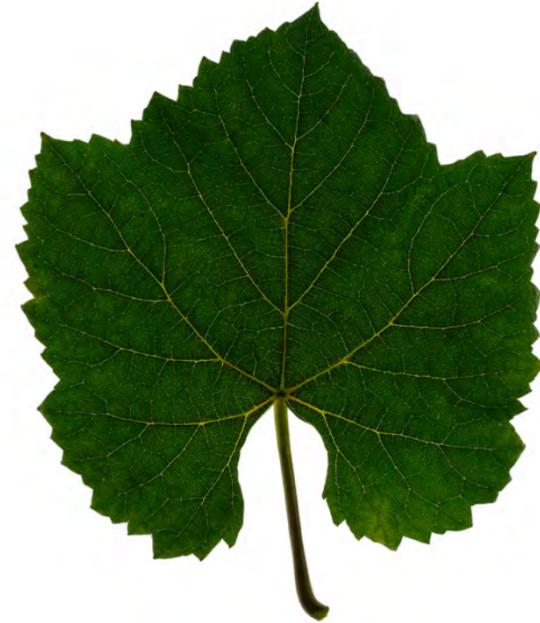
こうした全ての仕事の目的である究極の追求は、精神的な探求でしょう。「十字軍遠征に例えれば、味覚への遠征」です。この優しいブドウ栽培は、それを得るための、最も明白で最も配慮ある1つの手段です。「私たちは歴史を振り返り、過去から汲み取り、1000年の気候変動を生き抜いてきたブドウ樹と再び絆を結ぶ必要があります。」

ルイ・ロデレールは、過去から着想を得ながら、未来を見据えて独自の道を進んでいます。「明日はもっと良いことをしたい。」とジャン・バティスト・レカイヨンが打ち明けます。「歴史的な植物の遺産を守ることは、生態系の美しさ、神秘性、味の多様性など、私たちに特別な希望を与えてくれます。」ジャン・シャルル・グトナーの作品には、こうしたユニークな特徴が随所に見られ、未来への大きな希望を与えてくれるのです。





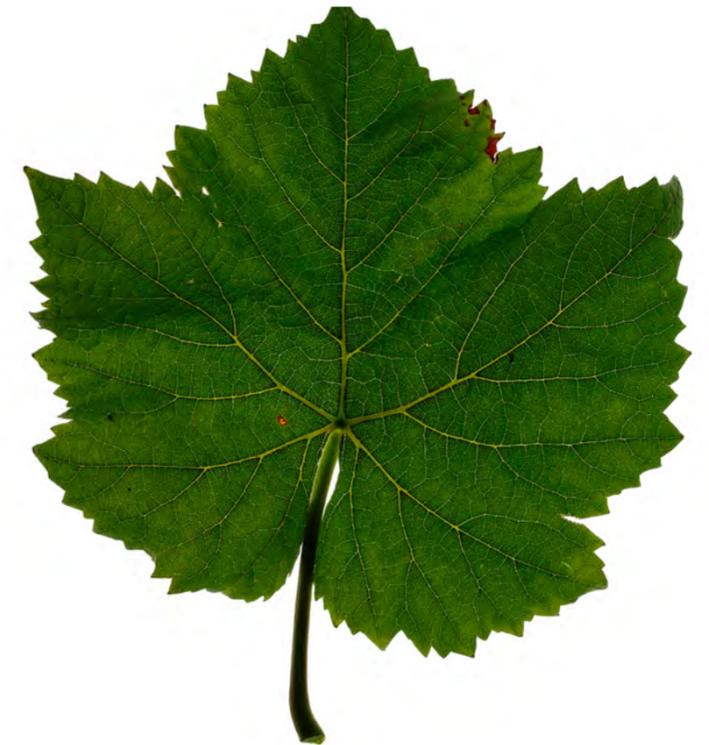
Pinot noir - Beaumont-sur-Vesle  
*102 La Voie des Vignes 193*  
*Selectionné en 2003*



Pinot noir - Aÿ  
*36 Gargotte 192*  
*Selectionné en 2002*



Pinot noir - Aÿ  
*15 La Côte du Moulin 81*  
*Selectionné en 2002*



Pinot noir - Aÿ  
*69 La Goutte d'Or 43*  
*Selectionné en 2002*

# 用語解説

## クローン選別

病気に対する抵抗力などの健康特性(耐病性など)や遺伝子的可能性を考慮して選ばれた1つの株から、つる性の植物を同一に再生すること。

## 挿し木

「娘」木は「母」木と同一の形質を持つ。

## マサルセレクション

多様な集団から多様な遺伝的可能性を持つブドウ株を選び、そこから若枝(接ぎ木)を取り、台木に接ぎ木すること。

## 接ぎ木

実を付ける穂木を台木に接ぎ木すること。

## イギリス式接ぎ木

斜めに切った切り込みに接ぎ木と台木を組み付ける並行の切り口を持つ接ぎ木。

## 韓紙

韓国の紙の総称。年に一度だけ生産される。韓国では国宝に指定され、メゾン・ブルーに記載されている韓紙は、ジャン・シャルル・グトナーの作品のために特別な工程を経て作られたもの。

## 台木

接ぎ木の土台にする植物。台木を地中に挿して根付かせ、実を付ける穂木を接ぎ木する(フィロキセラの発生以来、病気に強いアメリカ産の台木を使用)。

## 母樹

台木の母樹から、接ぎ木に使用する木材を生産する。

## 挿し木

植物の一部を切り取り、土に植え替えることで増殖させる。この母植物の断片がクローンとなって根を張り、成長する。



Photos credits :

Louis Roederer / Gutner

Louis Roederer / Eric Zeziola

Louis Roederer / Emmanuel & Quentin

Louis Roederer / Marie Flament

Champagne Louis Roederer (CLR) — A limited company ('société anonyme') with a capital of €3,672,000 — N.M. 291-001 - RCS Reims B 335 681 169 00017

Siège social : 21 boulevard Lundy - 51722 REIMS Cedex - France

Tel.: +33 (0)3 26 40 42 11 - Fax: +33 (0)3 26 47 66 51

Please drink responsibly.